

各位

近畿農業協同組合研究会  
代表者 北川 太一

## 令和6年度第1回近畿農協研究例会(通算第277回研究会)の開催について

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

近畿農業協同組合研究会は、「農協に勤める人は、現場の実情に通じているが、さらに深く考えることが足りないのではないか、逆に研究者は、理論は言うけれど、農協の実態を知らなさすぎるのではないか」、という初代代表の言葉により、JAの理論的・実践的諸問題を研究討議し、JA運動の発展に寄与することを目的に、昭和34年に設立され、JA役職員と研究者が協力して運営・開催し、自由な立場で論議を重ねるところに特徴があります。

この度、標記研究会を下記のとおり開催いたします。つきましては、公務ご多忙のこととは存じますが、貴団体の関係者の出席につきご配慮を賜わりたくよろしくお願い申し上げます。

なお、貴団体の支所(店)関係者にもご連絡のうえ、多数ご出席いただければ幸いです。  
敬 具☆ テーマ **持続可能な農業の実現に向けたJAの役割**  
—地域レベルの食料安全保障を考える—

わが国は、昨今のコロナ渦やロシア・ウクライナ紛争などを通じ、これまでの輸入に依存した体質や食料価格などをめぐる諸問題が露呈し、あらためて食料安全保障、国産国消、地産地消の重要性を認識することとなった。

この食料安全保障は、食料・農業・農村基本法の改正でより重視されることになったがそれゆえ今秋開催予定の第30回JA全国大会においても、食料安全保障の確保・実現に向けたJAの役割の重要性が議論されるだろう。

しかし、生産者の高齢化や後継者問題など、生産現場が抱える課題は、決して楽観できる状況ではない。そこで、生産現場の抱える諸課題を踏まえつつ、いかに地産農産物を生産して地元での消費を促し、地域住民が安心できる供給量を維持・確保できるのかについて検討する。

1 と き 令和6年8月23日(金) 13:00 ~ 16:40

2 会 場 奈良県農協会館5階会議室(奈良市大森町57番地の3)  
(ご来場は、原則、公共交通機関をご利用ください)

&lt;QRコード参照&gt;

## 3 も ち 方

(1)代表者挨拶(13:00~13:05)

近畿農業協同組合研究会

代表者 北川 太一

(2)歓迎の挨拶(13:05~13:10)

奈良県農業協同組合中央会

代表理事長 村本 佳宜氏

(3)座長解題(13:10~13:20)

摂南大学 農学部

教授 北川 太一氏

(4)報 告(13:20~15:00)

## I 地域レベルの食料安全保障とJAの役割

(13:20~14:10)

近畿大学名誉教授 池上 甲一氏

## II 直売所(まほろばキッチン)が果たす地産地消と組合員・地域住民との架け橋の役割

(14:10~15:00)

奈良県農業協同組合 営農販売部

次 長 寸田 憲司氏

&lt;&lt;休 憩&gt;&gt; (15:00~15:10)

(5)総括討論(15:10~16:40)

座長 前掲

北川 太一氏

コメンテーター(15:10~15:30)

奈良女子大学 生活環境学部

准教授 青木 美紗氏

和歌山県 紀の里農業協同組合

常務理事 中山 裕之氏

参加会費(資料代):個人会員 2,000円 団体会員 3,000円 非会員 5,000円

&lt;振込先&gt;

・JA京都信連 本店 普通預金 No.6295878

・郵便振替 No.01040-1-32086 (109店 当座 No.0032086)

名義:近畿農業協同組合研究会

# 令和6年度近畿農協研究会開催のご案内

## ☆ 年間統一テーマ 「JAの存在意義を高めるための課題」

JAグループは、組合員の高齢化や若年層の組織離れなどによる組織基盤の脆弱化や、厳しさが増す経営基盤の下で、今秋、第30回JA全国大会を開催し、今後3年間のJAグループの運動方針を策定することとしている。

そこで今年度は、JAの総合事業の強化により、食と農を支えることに加え、地域社会を豊かにすることなど、JAグループの存在意義をいかに高めていくのかをテーマに、研究例会を開催する。

### 【今年度の例会・大会】 ※テーマ等は、運営委員会でその都度決定されます。

- 第1回研究例会（第277回研究会） 本書オモテのご案内の通り
- 第2回研究例会（第278回研究会）
  - ☆ テーマ：協同組合としての地域社会の活性化に向けたJAの役割を考える  
－JAの総合事業を活かした活性化の課題－（仮題）
  - ☆ と き：令和6年11月6日(水)
  - ☆ と ころ：滋賀県農業教育情報センター（大津市）
- 研究大会（第279回研究会）
  - ☆ テーマ：総合事業の力による食農と地域社会の支え方－その現状と課題－（仮題）
  - ☆ と き：令和7年2月27日(木)
  - ☆ と ころ：京都JAビル（京都市）

### 連絡先 近畿農業協同組合研究会

（事務局）〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1（一般社団法人農業開発研修センター内）

T E L : 075-748-0703 E-mail : info@kinkinouken.jp

F A X : 075-748-0855 U R L : https://kinkinouken.jp

本書に参加者をご記入いただき、そのままFAXで送信下さい

（※当日参加も可能ですが、事務手続き上、可能な限り参加申込書をご送信下さい。）

令和 年 月 日

近畿農業協同組合研究会 事務局 行き  
(FAX : 075-748-0855)

団体名

## 令和6年度第1回近畿農協研究例会（通算第277回研究会）の参加申込書

（個人会員の場合は所定欄に○印をお願いします）

締切日：8月16日(金)

個人会員	部課及び役職名	氏名	個人会員	部課及び役職名	氏名

### ○ 近畿農協研究会への入会希望について

該当する箇所にレを付けてください。

入会する（事務局より「加入申込書」を送付します）  検討するので資料を希望する（当研究会のご案内等を送付します）

☆ JA運動を考える絶好の機会として、是非とも個人会員としてもご加入下さい。